

1 はじめに

本校は、スクールプランの一つに「ふるさとを愛する心の育成」をかね、地域の自然、歴史、伝統文化の体験学習を实践し、地域の方とのふれあい活動を推進している。これらの体験学習やふれあい活動を通して、ふるさとを愛する心を育てるとともに、礼儀やコミュニケーションの力をつけ、技術や知識、自分で考えて行動する場面を増やし、生きる力を育むことも目的として教育活動に位置づけている。

2 地域と連携した具体的な取り組み

本校では、今年度、地域の方に協力していただいて、6年生が、新たに下記のような取り組みを行ってきた。主に、総合的な学習の時間に位置づけて行ってきた。以下に、その具体的な取り組みについて紹介する。

(1) 思いをつないだ「服間を語る会」

昨年度の3学期に、現在の6年生と卒業した中学1年生、ふくま振興会の方が集まって「服間を語る会」を行った。服間地区の好きなどころ、今後の服間や服間に対する思いを語り合った。振興会の方からも、服間に対する思いや服間のためにしていることを話していただいた。服間の歴史を引き継いで残してほしいこと、すぐには実現できなくても服間のために自分にできることを楽しんでやってほしいことなども語ってくださった。

この「服間を語る会」での話を受けて、今年度の6年生は、自分たちにできることを考えて話し合い、佐々木小次郎が剣の技をみがいたとされる柳の滝がある「権現山にみんなで登ろう。」というテーマで探求的な学習を進めた。

(2) 権現山の調査

服間公民館でインタビューをしたり実際に登山したりして権現山について調査を行った。権現山の自然、柳の滝（五つの滝）、権現山から湧き出る名水などについて調べた。

(3) ふくま振興会・服間公民館・仁愛大学との連携

ふくま振興会の方を通して、仁愛大学コミュニケーション学科とも連携することができるようになり、ふくま振興会と服間公民館との3つの団体に協力していただいて、6年生がやりたいと考えたことを実現していくことになった。仁愛大学の学生が本校を訪れ、6年生と話し合い、計画を進めていった。計4回、話し合った。



服間を語る会



服間公民館でインタビュー



権現山の頂上

これらの話し合いのなかで、6年生は、話し合いの進め方・話し合いの整理の仕方・実現させるためのタイムスケジュールの考え方・実現させる内容の具体化のさせ方・チラシや図案の構成の仕方などを学生から学ぶことができた。また、学生たちの助けを借りながら、自分の考えを積極的に発言することができ、自分たちの考えが実現していくことに満足していたようだ。

(4) ふくま総合文化祭で広報

6年生は、ふくま総合文化祭に参加し、現在計画していることや協力してほしいこと、服間の良さを多くの人に知ってほしいという願いについて、地区の人たちに伝えた。

(5) 6年生が提案し、話し合いを重ねて実現した活動



学生との話し合い



ふくま総合文化祭で広報



登山参加者に名水を飲んでもらうことにした。水を入れるペットボトル用ラベル作成のために校内で図案コンクールを開いた。それを元に仁愛大学生がラベルを作成した。



権現山登山をよびかけるちらしを作成して、4年生5年生児童に配布した。当日は、小学生・大学生・地区の人など、36名が参加して登山をおこなった。



11月23日に権現山登山をおこなった。登山開始式や終わりの式など、6年生が中心になって計画し、服間地区に対する自分たちの思いを伝えることができた。



権現山の名水をラベル付きペットボトルに入れてもらい、参加者に味わってもらった。名水について調べたことも紹介することができた。



事前に調べたことの中から、権現山に関するクイズを作成して木につけておいた。クイズを楽しみながら、登山してもらったことができた。



登山中に見つけた木の実や木の葉を持ち帰り、それらを使って登山者と風鈴や写真立てを作成した。作り方など6年生が中心になって説明した。



服間地区で収穫された米・野菜・味噌・豚肉を使ったふくま汁を地区の方に調理していただいて、参加者全員で味わった。とてもおいしいと好評だった。

これらの活動のあと、6年生児童は、「地区の人たちと関わってよかった。」「服間の食材がこんなにおいしく感じるとは思っていなかった。」「対策が不足していた。」「役割分担をもっと考えればよかった。」などの感想を言っていた。地域に対する思いを強くし、活動に対する計画の大切さを実感したように思う。

3 終わりに

児童たちは、地域の人・行事・施設に関わることで地域の良さを再発見し、地域の魅力を発信することで地域に愛着をもつことができている。また、地域の一員としての自覚や誇りも持てるようになり、主体的に生きる力を少しずつ育んできている。さらに、たくさんの技・知識・知恵を教えていただき、生き方や生活に豊かさももたらしてもらっている。そのうえ、礼儀を学び、表現活動を通して話す力や書く力を伸ばすこともできている。

この地域では、地域と学校との協力体制が確立されてきているので、今後も、この協力体制を継続していきながら、一層の成果を上げられるように工夫していきたい。